

議会の動き

11月

- 22日 『農家さんのなかゆくい(感謝の集い)』(おんなの駅:副議長)
- 25日 第26回恩納村文化展オープニングセレモニー(恩納村博物館:議長)
- 28日 商工会会員忘年会(ホテルモントレ:議長)
- 30日 恩納村地域農業振興推進連絡協議会・部会交流会(恩納村コミュニティーセンター:議長)

12月

- 4日 平成29年第69回中部北環境施設組合議会
- 6日 「PFI・PPPに関する勉強会」(役場会議室:議員)
- 8日 平成29年第12回議会運営委員会(議長・副議長・委員6名)
- 11日 平成29年第8回恩納村議会12月定例会・本会議(開会)
- 13日 平成29年第8回恩納村議会12月定例会・本会議・一般質問(6名)
- 14日 平成29年第8回恩納村議会12月定例会・本会議・一般質問(2名)
- 15日 平成29年第13回議会運営委員会(議長・副議長・委員6名)
- 平成29年第8回恩納村議会12月定例会・本会議
- 18日 基地問題対策委員会『安富祖ダム建設現場への流弾事件原因究明及び住民が安心できる安全対策の公表に関する抗議行動』(沖縄防衛局・在沖米四軍調整官:キャンプ・フォスター、議長・基地問題対策委員8名・安富祖区長・安富祖区評議員・地主会)
- 19日 第2回議会活性化特別委員会(委員14名)
- 20日 第3回議会活性化特別委員会(委員14名)
- 平成29年第14回議会運営委員会(議長・副議長・委員4名)
- 21日 議会活性化について村当局へ要望書の提出(議長・委員長)
- 平成29年第8回恩納村議会12月定例会・本会議(閉会)
- 28日 平成29年御用納めに伴う本会議場等清掃(議員)

1月

- 4日 恩納村成人式(恩納村コミュニティーセンター:議長・議員)
- 5日 恩納村新年祝賀会(恩納村コミュニティーセンター:議長・議員)

- 10日 議会広報委員会(議会だよりNo.135第1回編集会議:委員6名)
- 経済建設民生委員会・所管事務調査(サンゴの村宣言関連:委員6名)
- 12日 金武地区消防衛生組合出初式(金武地区消防衛生組合本部:議員)
- 16日 議会広報委員会(議会だよりNo.135第2回編集会議:委員6名)
- 経済建設民生委員会・所管事務調査(サンゴの村宣言関連:委員5名)
- 22日 経済建設民生委員会・所管事務調査(サンゴの村宣言関連:委員6名)
- 26日 議会広報委員会(議会だよりNo.135第3回編集会議:委員6名)
- 28日 学びを確かめつなぐ集い(ゆうなホール:議長・議員)
- 29日 総務財政文教委員会(議案第68号・恩納村体育施設の指定管理者の指定についての閉会中の継続審査:委員8名)
- 経済建設民生委員会・所管事務調査(サンゴの村宣言関連:委員6名)
- 30日 平成30年第1回金武地区消防衛生組合臨時議会(派遣議員2名)
- 31日 議会広報委員会(議会だよりNo.135第4回編集会議:4名)

2月

- 2日 沖縄県町村議会議長会広報研修会(自治会館:委員3名)
- 5日 平成30年第1回議会運営委員会(議長・副議長・委員6名)
- 基地問題対策委員会(米軍施設立ち入り調査に関する調整:委員8名)
- 6日 平成30年第1回恩納村臨時議会
- 7日 経済建設民生委員会・所管事務調査(サンゴの村宣言関連:委員5名)
- 8日 議会広報委員会(議会だよりNo.135第5回編集会議:委員4名)
- 10日 恩納村産業まつりオープニングセレモニー(ふれあい体験学習センター:議長・議員)
- 17日 沖縄宇宙通信所開設50周年記念(議長)
- 20日 沖縄県町村議会議長会第47回定期総会(自治会館:議長)
- 議会だより「うんなNo.135」発行

安富祖ダム建設工事現場での流弾事案 調査結果に抗議!!

平成29年4月6日、13日の両日、在沖米軍キャンプ・ハンセン内の安富祖ダム建設工事現場で、工事車両や水タンクが破損し、車両付近から銃弾とみられる物が見つかった事件で、本村議会は沖縄防衛局へ事件の全容解明を早急に実施し、報告することなどを強く要請し、意見書を提出していましたが、11月14日、米軍側から説明を受けた防衛局からの調査報告書の内容は、事件の全容解明には程遠いものであった。

よって、12月19日に日米両政府及び関係機関に対し、抗議決議、意見書の提出を行った。



安富祖ダム工事現場の入り口

沖縄防衛局(嘉手納町)



会議室での抗議行動。



仲田議長から日本政府、関係機関へ意見書の提出。

在沖米軍キャンプ・フォスター(北中城村)



キャンプ・フォスター内会議室にて抗議行動。

仲田議長から米軍関係機関へ抗議決議文の提出。

なお、内部は撮影禁止のため写真はありません。

安富祖ダム工事現場での流弾問題調査結果報告

【調査結果と原因】

- ① 弾丸は、長射程の7.62ミリ弾で、海兵隊員が長距離射撃訓練で使用すると同タイプ。
- ② 弾丸は4月3日、5日にキャンプ・ハンセンの射場での訓練で使用されたもの。
- ③ 同種の弾丸が、工事現場に影響を与える可能性は極めて低いが、将来の可能性を排除するため射場の運用規則を変更

【予 防 策】

- ① 射場の制限範囲と発射方向を移動。
- ② 発射方向の制限を示す標識の位置を変更、射場の運用規則を修正。

- ① 調査のため一時閉鎖していた射場は11月13日から再開。

(11月11日の琉球新報掲載記より引用)

抗議決議及び意見書

- 1. 事件の全容解明を早急に行い、住民の納得できる内容で報告すること。
- 1. 米軍のとした予防策を、住民が安心して生活できる内容で報告すること。
- 1. 事件・事故発生時には地元自治体及び県警察の速やかな基地への立入調査ができるよう、日米地位協定を改定すること。